

## 第4回全国公募「丹（まごころ）の里ありがとう大賞」大賞が決定

今年も全国公募でありがとうのメッセージを募集したところ、全国39都道府県から、1,265点の応募がありました。「こども部門」「おとな部門」の大賞作品を発表します。

### こども部門 大賞 丹波市立北小学校 足立胡桃さん（小6）

神様へありがとう

私は、幼稚園位の時に近くの墓におじいちゃんと一緒に、お父さんの仕事が無くなったから新しい仕事が見つかりますように…と心の中で何回も言って家に帰りました。それから一週間後位に、お父さんから仕事が見つかったと聞いてすごく喜んで、次の日もその次の日も、墓に行って「ありがとうございました。」と心の中でひっそりと言いました。

私は、神様へのありがとうは心の中で言っても神様に願いは届いていると思います。

### おとな部門 大賞 新潟県新発田市 齋藤やよいさん（56）

母さん、ありがとう

九十三歳の母と同居して四ヶ月になる。母はよく笑う。時には少女のようにはかみながら、時には大口を開けて豪快に。

そして、どんな些細な事にも、「ありがとう」と言う。そのたびに私は、「どういたしまして」と優しく返事をする。笑顔とありがとうは、同居をしていく上で欠かせないものだと感じている。

そんな母のしわくちゃんな笑顔と「ありがとう」が、私を優しい気持ちにしてくれる。母さん、いつもありがとう。

\*紙面の都合により、大賞のみの発表とさせていただきます。

## 市政情報

### 丹波市復興プラン先導的事業の答申を受けました

市民と有識者で構成される丹波市復興プラン策定委員会（室崎益輝委員長）は、3月4日、復興プランの策定にあたり、復興を実現するための先導的事業を辻市長に答申しました。

安心・安全町づくり、森林・農業、住まい、人口・コミュニティの5つの重点分野に、復興の実現手段となる52の具体的な事業が提案されました。

室崎委員長は、「確実なフィードバック、検証と修正を行いながら、市民力を生かして機動的な復興を進めてほしい」と辻市長に伝えました。それを受けて辻市長は、「復興をめざすことはもちろん、市の将来をつくる計画であると認識している。行政、市民一丸となって復興に取り組みたい」と話しました。



答申書を辻市長に提出する室崎委員長（写真左）。

めざす将来像を共有し、すべての力と方向を集結させよう

### 通勤・通学に便利な市営駐車場をご利用ください

「丹波市営駐車場」は、JR各駅の隣接地に整備した駐車場です。月極だけでなく一時利用もできますので、通勤、通学をはじめ、JR福知山線のご利用に大変便利です。

【市営駐車場の管理・お問合わせ】  
利用方法や料金、空き状況などのお問い合わせは、  
3月末まで⇒柏原神姫タクシー(株) ☎ 0120 - 22 - 0403  
4月から ⇒丹波市デマンド会 ☎ 82 - 6644

### 平成27年4月から 新たな生活困窮者 自立支援制度がはじまります

生活保護に至る前の段階のさまざまな事情で生活に困っている方に対する自立支援制度がはじまります。

平成27年4月1日から相談支援窓口と相談専用フリーダイヤルを開設し、相談者の「自立の促進」を図ります。

#### ■自立支援の流れ

**STEP 1** 生活の困りごとなどを専門の相談支援員にお話してください。生活状況と課題を分析します。

**STEP 2** 自立への目標や支援内容を一緒に考え、あなただけの支援計画をつくります。

**STEP 3** 支援計画に沿って、関係機関と連絡を取りながら、自立に向けて支援を行います。

#### ■相談できる方（次の①・②の両方に該当する方）

- ①市内在住の方で生活保護を受給していない方
- ②生活にお困りで、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある方

☎ 社会福祉課（春日庁舎内）

相談専用フリーダイヤル ☎ 0800 - 200 - 3393  
月～金 午前8時30分～午後5時15分  
（土・日・祝日・年末年始を除く）

YouTube

### 新しいごみの分別方法がわかる！ YouTube で動画配信中

新しいごみ処理施設「クリーンパーク丹波」が4月1日から稼働することにあわせて、ごみの分別方法の一部が変わります。

市では、新しいごみの分別方法や注意すべきポイントを紹介するDVDを作成し、動画共有サイト「YouTube」に掲載しています。すでに配布している「丹波市ごみ分別パンフレット」とあわせてご覧ください。

☎ 環境整備課（氷上庁舎内） ☎ 82 - 1292

あなただけの支援計画をつくります



登録証を掲げる(株)バイオマスたんば 中尾正文社長

（株）バイオマスたんば  
「ひょうごバイオマス  
ecoモデル」に登録

市内の未利用間伐材をチップ燃料に加工し販売する(株)バイオマスたんば（中尾正文社長）が、市内3例目となる「ひょうごバイオマスecoモデル」事業所に2月13日付けで登録されました。

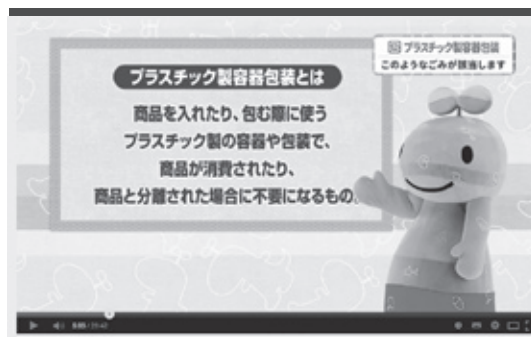
「ひょうごバイオマスecoモデル」とは…

兵庫県下のバイオマス利活用を促進するため、再生可能エネルギーであるバイオマスを先導的に利活用する事業者を登録し、広くPRする制度。



同社は、昨年5月に丹波市森林組合、丹波ひかみ森林組合、丹波林産振興センターの3者により設立され、グリーンベル青垣温水プールのほか、市内の民間バイオマス発電施設に燃料用チップを供給しています。中尾社長は、「地産地消の仕組みが認められた。今後も供給量を増やしていきたい」と意気込みを語りました。

「地産地消の取り組み認められた」



ちーたんが登場し、動画と音声でごみの分別方法をわかりやすく紹介しています。

#### - 動画を見る方法 -

- ①動画共有サイト「YouTube」のサイト内検索で「丹波市 分別」と検索
- ②丹波市ホームページのサイト内検索で「動画 ごみ分別」と検索